

検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。
このたび、下記の検査項目につきまして、同一試薬メーカーが販売する体外診断用医薬品の承認を得た試薬へ変更させていただきます。
取り急ぎご案内いたしますので、ご利用のほどよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

変更項目

- 抗ミュラー管ホルモン(AMH) :項目コード 5048

変更期日

平成30年12月1日(土)受託分より変更

変更内容

※ 詳細につきましては、次ページの内容をご参照願います。



保健科学研究所	〒240-0005 神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町106	TEL.045-333-1661
保健科学東日本	〒365-8585 埼玉県鴻巣市天神3-673	TEL.048-543-4000
保健科学西日本	〒612-8486 京都府京都市伏見区羽束師古川町328	TEL.075-933-6060
保健科学東京	〒160-0001 東京都新宿区片町3-3	TEL.03-3357-3611
保健科学新潟	〒950-0054 新潟県新潟市東区秋葉1-6-31	TEL.025-275-0161

平成30年12月1日(土)受託分より変更

項目コード	検査項目	変更内容	新	現	総合検査案内掲載ページ
5048	抗ミュラー管ホルモン (AMH)	参考基準値	下記参照	設定なし	34

※ 測定試薬を同一メーカーが販売する体外診断用医薬品の承認を得た試薬への変更です。
 ※ その他検査要項に変更はございません。

▼ 参考基準値

AMH測定値の年齢別分布(中央値)

年齢(歳)	n	中央値 (ng/mL)	95%信頼区間(参考基準値) (ng/mL)
≤27	558	4.69	0.76 ~ 14.18
28	387	4.27	0.84 ~ 12.44
29	555	4.14	0.86 ~ 11.97
30	663	4.02	0.79 ~ 12.74
31	865	3.85	0.44 ~ 13.08
32	872	3.54	0.62 ~ 13.87
33	959	3.32	0.40 ~ 12.76
34	1,064	3.14	0.38 ~ 11.16
35	1,191	2.62	0.37 ~ 10.18
36	1,122	2.50	0.33 ~ 9.93
37	1,154	2.27	0.24 ~ 8.50
38	1,230	1.90	0.11 ~ 7.81
39	1,176	1.80	0.13 ~ 7.45
40	1,057	1.47	0.08 ~ 6.13
41	888	1.30	0.06 ~ 5.52
42	715	1.00	0.05 ~ 5.81
43	509	0.72	0.03 ~ 4.49
44	309	0.66	0.03 ~ 3.98
45	144	0.41	0.03 ~ 3.43
46≤	127	0.30	0.02 ~ 1.67
全群	15,545	2.36	0.12 ~ 10.67

※JISART(日本生殖補助医療標準化機関)の各施設に通院する不妊症患者で本品を用いて測定した 16,526 例のうち、多嚢胞性卵巣(PCO)(939 例)および早発卵巣不全(POI)(42 例)と診断された症例を除外した後の、女性 15,545 例の AMH 測定値の年齢別分布(中央値)をノンパラメトリック法により求めました。(JISART 多施設共同研究での国内検討データ)

▼ 判定上の留意事項

日本産科婦人科学会 生殖・内分泌委員会 生殖医療リスクマネージメント小委員会の報告では、AMH 測定に際して留意すべき事項として次の 4 項目が挙げられています。

- ① AMH は卵子の質とは関連しない。
- ② AMH の測定値は個人差が大きく、若年女性でも低い場合や高齢女性でも高い場合があり、測定値からいわゆる「卵巣年齢」の推定はできない。
- ③ 測定値と妊娠する可能性とは直接的な関連はなく、測定値から「妊娠できる可能性」を判定するのは不適切と考えられる。
- ④ 測定値が低い場合でも「閉経が早い」という断定はできない。

▼ 基準値参考文献

平成 27~28 年度生殖・内分泌委員会 生殖医療リスクマネージメント小委員会報告: 抗ミュラー管ホルモン (AMH) の測定に関する留意事項: 日産婦誌 69: 1721, 2017.